

發行兼編輯人 川崎文治

本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日九十二月七

定価 一紙五錢 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元 郵費別 廣告料 五字一行 一日五錢 五日二十錢 一月六十錢 印刷費 別取 電話六三〇番

常盤論壇 内閣のタガは緩んだ 政治は力なりといふことは往々にして悪い意味に解せられてゐるが併し政治は飽迄も力強くなくてはならぬ即ち力強い政治が行はれるといふことが必要で之れは所謂力の政治と區別すべきである而して之が爲には政府が鞏固なる基礎の上に立ち不拔なる信念を以てその主義主張を實行するといふこととなければならぬ然るに現内閣は議會に於て僅に三分の一の與黨を有するに過ぎず現に憲政會は第二黨の地位にあるのであるから

其の基礎は甚だ鞏固でない然も若槻内閣は自ら求めて護憲運動の精神を蹂躪するの態度に出でてまでも其の地位に戀々たるものがあるのは到底信を國民に受けるの所以でない加之其の消極政策は或は一部の富豪を利するに都合はよいかも知れぬが一般國民は今や殆ど疲弊困憊の極に陥つてを斯くして現内閣の影は甚だしく薄らぎ來りそのたがは大きいに緩んで來た、長野縣に起つた不祥事件の如きも官僚内閣の末期を想はせるものであり又鐵道省の青木問題の如きに至つては政府の無力を暴露して遺憾なきもので其たさ醜態である斯か

一事が簡單に處理せられぬといふが如き無力無確信なる内閣が存在するといふことは國民として到底堪へ得る所ではない従つて若し此の状態が久しきに亘るに於ては民心の上に及ぼす悪影響は實に想像するに堪へばならぬ而して現内閣の病弊は已に膏肓に入れるものにして今更起死回生の手段の施しやうもない即ち之れ民心の現内閣を去れる所以であつて斯くてもなほ非運を持続して其の地位に啗ちり付かんとするに至つては言語同斷と評するの外ない



カークバイト 北陸電氣工業株式會社製 特約販賣 福島縣平町壺丁目七番地 合資 平銃砲火薬店 電話四四一四番

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院 平南町(電話一七〇番)

チキン ソース 粉 乾物煙草 海老屋商店 平田町電話二三五番

喜多林之助 親衛生 麥湯接待 岩石材店 喜多林之助

お盆提灯製作 戒名人迅速安價 紋入技術優秀 岐阜提燈販賣 目丁四平 ヤノガス店 提

會期 大正十五年八月十日ヨ 夜八時より十時迄 會場 平町南町 公會堂 附屋外活動寫眞 日本度量衡協會福島支部石城部會 福島縣計量器組合石城支會 後援 平 警 察 署 町 役 場

治淋 偉効藥の現出 ラウタール 代理店 山野邊藥局

胃腸 専門 科 腸 指 二 十 科 虫 腸 門 院 病 村 松 部 科 内

梅毒 婦人病 淋病 皮膚病 疥癬 疥癬 疥癬 疥癬

水野化粧院 水野フユ

暑中御伺 美和洋結髪 御化粧法 衣裳着附 爪術 裝身法

パイロット 萬年筆 代理店 西村屋藥舖 平町二丁目電話三番

新着發賣!! 印除虫粉 印のみこり粉 印蚊こり線香

家賃 新川町十七番地 表通商店向 新川町十八番地 裏家二戸建 新川町 中野勇吉

社員採用 平町ミシン會社支店 平町 中野勇吉

佐々木商店 平町公園前(電話二三三)

### 本社主催の

## 自轉車遠乗會

後援 平自轉車商組合  
四倉へ炎天強行

- ▼期日……八月八日(日曜日、舊曆七月一日)
- ▼集合……午前七時迄平商業學校々庭
- ▼出發……午前八時(花火合圖)
- ▼目的地……四倉海岸
- ▼餘興……福引、マラソン、相撲其他
- ▼會費……五十錢
- ▼締切……八月五日
- ▼其他……晝食を呈し各商店よりの寄贈品を分與、救護班同行

## 平町の百萬長者が

### 寄附集めの苦心談

釜屋若主人の一大發見

### 度量衡幹部大馬力

本縣度量衡組合の總會を平町に引張るに就いては平町の幹部が容易ならぬ苦心を注いだ、夫れだけに愈々平町が開催地と指定さるゝに及んで

張り込み も一層に違ふ、釜屋商店の前に事務所所迄設け諸橋守治君や鈴木邦三郎君、夫れに關内庄一君其他十數名の關係商店主が毎日詰り切りでピラ書きから案内狀配り迄汗ミドロの大奮闘、おまけに費用も仲々莫大にかかる事として常に寄附責めて

取られる、側にはか

んと閉口した、今迄は取られる側に立つ場合が多かつた丈に

取る側に 立つて見ると仲々どうして大變なものだ、目當にした家にも身がひけてスグには飛び込めず、二三回も素通りして清水の舞台から飛び下りる様な一大決心を固めて恐る／＼お伺ひを立てると云つた調子、中には居留守を食つた家も二三軒ばかりある餘ッ程今度の

### 寄附募集

では壽命を縮めたヨ、こんな次第だから話が纏つて寄附帳へ十圓也とでも書かれると鬼の首でも取つた積り、店の商賣で二三萬圓の金を儲けるよりは餘ッ程嬉しい、今迄は取られるたんびに辛い思ひをした事もあるが取る側より取られる側の方が末だ

### 幸福だ

いふ事を今度といふ今度は必々痛感したヨ、ソツハハ

### 紺屋町の標札

平町紺屋町青年分團にては分團長關内喜久次郎君發起とな



家庭欄

始めて泳ぐ人へ(中)

次ぎには片手をはづして水を前後に強く早く掻きますこれにもなれたら次は甲の

## 度量衡總會

終つて懇親會

夫れに園遊會

既報日本度量衡協會本縣支部の總會は十一日午後一時より舊郡會議室にて開會し終つて午後五時よりは谷口樓に懇親會を開き同夜は参加會員全部平町に宿泊翌十二日は午前八時七分半驛を出發して四倉驛に下車セント工場を參觀茶菓の饗應を受け徒歩にて新舞子に至り園遊會を催す筈だが大浦村役場よりは川舟十艘を提供し地引網其他の余興に一日の清遊をほしい儘にする

## 展覽會と

野外活動寫眞

別項本縣度量衡協會支部の總會を好機として開催されるメートル法展覽會は十日より三日間にて毎日午前九時より午後十時迄とし會場は舊郡役所、また同期間中

## 平町人事

▲死亡

△田町三六(大石チエ二つ)  
△正内町一四(井出シヤ七七)

## 酔氣嫌で

涼車に轢かる

平町字研町居住茨城縣多賀郡結川村大字成澤生れ古物商大久保亥之吉(五)は廿七日午後八時廿二分石城郡内郷村大字高坂園部商店にて一合の酒を飲提灯を借り酔氣嫌にて歸途に着き綴羅構内に差し掛つた際入替中の機關車に轢かれて惨死し七海部長検視を遂げた

## 氣持の好い平町に

モット永く居たかつた

### 榮轉の宮崎檢事談

柔道三段の巨大な体軀の所有者である平區裁判所檢事宮崎正己氏はまた極めて圓滿な人格の所有者であつた、山形地方裁判所の首席檢事として今回の榮轉を見るは氏の爲めに大いに祝ひ且つ喜ばねばならぬ事であるが其反面に於て氏を知る者一人として今回の別れを惜しまぬ者はない、左は別に臨んで氏の語る處である

「當地へ赴任したのは大正十三年の十一月で非常に寒い日でした、もう既に一年九ヶ月を経たかと思ひば今

### 割合に少く

自分も愉快に仕事が出来ました其爲めに随分事件数は多いがテキハキ解決も早く能率は思つたよりも上つた積りで

## 追悼弓術會

尼子弓友會が

阿形氏命日に

平町尼子弓友會にては明廿日會員の一人であつた故

### 電報所要時間

平郵便局が去る十五日調査した主要地間との電報所要時間左の如し

- (室蘭)一時廿分(山形)十六分(須賀川)十三分(千葉縣野田)廿七分(前橋)廿二分(埼玉縣粕壁)四十分(小石川)四十五分(横濱)四十分(天橋)廿七分(京都)一時間(神戸)三十分(尾道)四十分(尾道)四十分(鹿兒島枕)時間四十五分

## 小名濱水泳便り

警城高女生から(第四信)今日廿七日は今迄にない上天氣朝の炊事を済ましていたよ、水泳場に迎ひました大變愉快でした、だん、水泳にされたので實が入り歸途につくのやがりがりとした砂がやけていたので足が焼つく様にあつた、こゝにも一つのユーモアがありました、晝食を済まして午後二時水泳場に迎ひました、皆んな日にやけたのが目に立ちます体がビリ／＼すると思ひます午後五時に歸途について風呂をあび床についたのが九時すぎです(鈴木セツ)